

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 8日 更新

事務事業名		消毒機械貸出事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	9 住環境の充実				所属課	環境衛生課	担当者名	石原 勝史
	基本事業	23 環境衛生の充実				所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 11471	法令根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的として開始した。平成24年度から各自治会(区)の判断で実施する区へ消毒機械の貸出しを行う。消毒薬剤の購入は各自治会負担とした。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	消毒機械の点検・修理・貸出し
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
消毒機械の点検・修理・貸し出しを行った。 消毒機の貸し出し台数(延べ)38台、消毒実施世帯数899世帯 平成24年度から各自治会の判断で実施する区へ機械貸出しを行い、消毒剤の購入は各自治会負担とした。		消毒機械の点検・修理・貸出し	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 消毒機械の貸し出し数	台	消毒用薬剤購入の減	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
家屋		→ ア 家屋数	戸
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
衛生害虫の駆除		→ ア 消毒実施世帯数	戸
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的としており、成果指標を「消毒実施世帯数」と設定した。平成25年度目標値は現状の消毒実施世帯数で推移すると考え「899戸」と設定した。			全体計画 ~ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標		台	154	170	180	38	40	40	40	40	
② 対象指標		戸	20,400	21,104	20,800	21,472	21,500	21,700	21,800	21,900	
③ 成果指標		戸	2,925	2,668	2,600	899	899	899	899	899	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	2,523	2,892	419	417	232	232	232	232
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	2,523	2,892	419	417	232	232	232	232
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	7	5	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	128	180	150	125	150	150	150	150
		(B)人件費計	千円	527	726	605	508	605	605	605	605
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,050	3,618	1,024	925	837	837	837	837	

事務事業名	消毒機械貸出事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 以前に比べると消毒機械による家屋の消毒は、減っており、実施した行政区も81行政区中5行政区であった。	☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 消毒薬剤を自己負担にしたため、実施世帯が減ってきていることもあり目標達成は難しい。	☒ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 消毒を実施する世帯が減少してきている。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 事業の縮小	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業費が乾電池購入、消毒機会点検修理費のみなので削減できない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最小人員で行っているので削減の余地なし。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 受益者負担の見地から、薬剤は使用者負担とする。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第28条に規定する発生予防の目的に資するので適正である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度は、延べ貸出し台数38台、899世帯の消毒を実施し、衛生害虫等の駆除及び快適な住環境づくりに努めた。消毒実施世帯数は現状の899世帯で推移すると考えられる。 平成24年度からは、機械の貸し出しのみとし、薬剤は使用者負担とする
--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<